

まちづくり論(SA専門科目)

=====

科目名：

まちづくり論（英文科目名：CommunityUpgrading）

2単位 選択 建築学専攻1年 後期 講義

担当教官：

河東義之（非常勤講師・千葉工業大学）Email:kawahigashi@pf.it-chiba.ac.jp

授業目的：

近年、各地で独特のまちづくりが行われ、建築家が重要な役割を担っている例が少なくない。従来の都市計画とは異なった、より地域的・文化的なまちづくりに意義を理解し、その手法と問題点を探る。

達成目標：

- 1, まちづくりの代表的な手法を修得する。
- 2, まちづくりに関わっていくために必要な史学的・文化論的アプローチを修得する。

教科書：

授業で配布するプリントを用いる。

参考書：

「街並みづくり」市ヶ谷出版社

学習方法：

予習-授業で配布されるプリントを読む。

授業-毎回、授業内容に関する討論をする。

復習-興味を持った「まち」や「まちづくり」について調べる。

学習保証時間：

100（分/週）× 15（週間）= 1500（分/年）= 25（時間/年）

キーワード：

まちづくり、景観、合意形成

授業内容：

- 1, 町並みとまちづくりの歴史（2週）
- 2, まちづくりの種類と方法（2週）
- 3, 歴史的環境のまちづくり（2週）
- 4, まちづくりのプロセスと手法（2週）
- 5, まちづくりの基礎調査（2週）
- 6, 各地のまちづくりの事例と分析（4週）
- 7, まちづくりの提案（1週）

まちづくりの事例と分析, まちづくりの提案は, 各自の発表形式で行う。

授業方法：

授業は、スライドとプリントを併用して行う。この中で興味を持った「まちづくり」について、各自調査を行い、事例分析、及び発表会を行う。

カリキュラム中の位置づけ：

近年、様々な新しい「まちづくり」の手法が各地で行われていることから、事例を
見ること
で、それらの手法を学ぶ講義である。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築史、建築計画、都市地区計画、建築設計

この科目と同時に学ぶ関連科目

近代建築思潮史、建築設計

この科目の後に学ぶ関連科目

文化財保存論

評価方法：

出席状況と発表内容による。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

まちづくりの事例を自ら訪れて、その成果や問題点を指摘してもらう予定である。

=====